



OUR OFFICE

インストールマニュアル



Ver2.3.8

 **名鉄協商株式会社**

第一版 平成 20 年 9 月

内容

はじめに	3
注意事項	4
1. セットアップの開始.....	7
1-1 インストールファイル OUROFFICE_SETUP.EXE を実行	7
1-2 インストール開始.....	7
1-3 SQL SERVER 2005 EXPRESS EDITION の展開処理.....	7
2. SQL Server 2005 Express Edition のインストール.....	8
2-1 使用許諾確認.....	8
2-2 基本コンポーネントのインストール①.....	8
2-3 基本コンポーネントのインストール②.....	9
2-4 本体インストール.....	9
2-5 システム構成チェック	10
2-6 登録情報入力.....	10
2-7 機能選択	11
2-8 認証方法設定.....	11
2-9 アカウントの構成.....	12
2-10 エラーと使用状況設定画面	12
2-11 インストール準備完了画面	13
2-12 展開処理.....	13
2-13 インストール完了.....	14
3. グループウェアシステム【OUR OFFICE】のインストール	15
3-1 グループウェア OUR OFFICE 基本モジュール インストール.....	15
3-2 ユーザー情報の登録.....	16
3-3 データベース認証方法の設定	16
3-4 グループウェア インストール準備の完了画面	17
3-5 グループウェアのインストール中画面.....	17
3-6 グループウェア インストールの完了.....	18
4. OUR OFFICE を利用する	19
4-1 インストールした OUR OFFICE を利用する	19
4-2 ライセンスを認証する	19
4-2-1 ライセンス認証方法 ①（30 日お試し版認証）	19
4-2-2 ライセンス認証方法 ②（ライセンスキー入力版認証）	20
5. Windows Vista・Windows2008 Server を利用する場合の必須設定	22
5-1 環境設定.....	22
【WINDOWS VISTA の場合】	22
【WINDOWS 2008 SERVER の場合】	26

はじめに

本マニュアルでは「Our Office バージョン 2. x」のインストール方法について説明しています。
本マニュアルの内容をよくお読みいただいた上で、作業を行ってください。

■ マニュアル読者対象

「OUR OFFICE バージョン 2. x」をお使いになる一般ユーザー及び管理者を対象としております。

■ 商標について

- ・ OUR OFFICE は、名鉄協商株式会社の商標(※申請中)です。
- ・ Windows は、米国 Microsoft Corporation の登録商標です。
- ・ その他、記載されている会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

■ セットアップファイルモジュール内容

- ・ OUR OFFICE 基本プログラム
- ・ Microsoft .NET Framework 1.1 SP1 再配布用モジュール
- ・ Microsoft .NET Framework 1.1 SP1 Security Update Program (KB928366)
- ・ Microsoft .NET Framework 2.0 SP1 再配布用モジュール
- ・ Microsoft .NET Framework 2.0 SP1 Language Pack - Japanese
- ・ Microsoft Data Access Components (MDAC) 2.8
- ・ MSXML 6.0 SP1
- ・ SQL Server 2005 Express Edition SP2 再配布用モジュール
- ・ SQL Server 2005 Express Edition SP2 用初期インストールデータ

※インストールファイルバージョン 15.0.0.591 より、SQL Server 2005 Express Edition SP2 となります。

■ 動作環境

- ・ Windows 2000 Server SP4、Windows 2003 / 2003 R2 (OUR OFFICE インストール環境)
- ・ Windows 2000 Workstation SP4、Windows XP SP1 以降、Windows Vista (クライアント端末)

※ Windows XP へインストールして使用される場合、複数メンバでの同時ご利用は、IIS の機能制限上接続タイムアウトや同時接続エラーが発生いたしますのでご注意ください。 サーバーでの運用を推奨しております。

■ インストールに関する注意事項

- ・ Windows 2000 Server SP4 クリーンインストール環境にて、OUR OFFICE セットアップを開始しますと、「プロシージャ エントリ ポイント HeapSetInformation がダイナミック リンク ライブラリ KERNEL32.dll から見つかりませんでした。」といったエラーが出ることがあります。その際は、Windows 2000 SP4 用の更新プログラム ロールアップ 1 を実行願います。

<http://download.microsoft.com/download/7/6/6/766502ed-965b-4b8b-a06c-67b3774be8d8/Windows2000-KB891861-v2-x86-JPN.EXE>



注意事項

- SQL Server 2005 Express Edition と競合するアプリケーションソフトをインストールされている場合は、環境により重大な問題や影響を及ぼす可能性がありますので、インストールしないようお願いいたします。
- 試用版インストールに関するサポートは対象外となります。お客様責任の下インストール頂くと共に、インストールに関する問い合わせは、御遠慮願います。
- Windows 2003 及び Windows Vista・Windows2008 Server（動作保障無）へインストールする際は、一部手動にて設定を変更していただく必要がございます。
 - ⇒ 「インストール方法」 - 「IIS6.0 の設定(2003)」をご確認ください。
<http://www.ouroffice.jp/Trial/IIS6.html>
 - ⇒ 「5.Windows Vista・Windows2008 Server を利用する場合（P.21）」をご確認ください。

取扱説明書表記規則

■ メニュー、フォームの表記

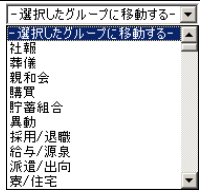
表 記	説 明
クリック	マウスの左ボタンを、一度押して、すぐに放す。
ダブルクリック	マウスの左ボタンを、一度押してすぐに放すことを、2回繰り返す。
ドラッグ	マウスの左ボタンを押しながら、マウスを動かす。
右クリック	マウスの右ボタンを、一度押して、すぐに放す。
右ダブルクリック	マウスの右ボタンを、一度押してすぐに放すことを、2回繰り返す。
右ドラッグ	マウスの右ボタンを押しながら、マウスを動かす。
ポイント	マウスをある位置まで移動して止める。

■ キー操作の表記

表 記	説 明
[Enter]	キーは角カッコで囲んで表記します。
[Alt]+[F1]	プラス記号(+)は、キー操作の組みあわせを表します。例えば [Alt]+[F1]は、[Alt]キーを押しながら[F1]キーを押すことを示します。
[Alt], [T], [S]	キーがコンマ(,)で区切られている時は、それぞれのキーを順に押すことを示します。
方向キー	[→], [←], [↑], [↓]キーの総称です。

■ 用語の説明

表 記	説 明
ウィンドウ	MS-Windows の画面上に開く長方形の領域の総称。
フォーム (ダイアログボックス)	ウィンドウの一種で、一般的にはダイアログボックスと呼ばれています。 簡単な情報を表示したり、入力や選択を促したり、警告をユーザーに報告するのに使われます。
ボタン	このような画面上で立体的に、飛び出して見えるか又はくぼんで見えて、クリックできる領域をボタンと呼びます。
チェックボックス	☒ このような小さな正方形で、クリックするとチェックマークが表示されるか消えるものをチェックボックスと呼びます。
オプションボタン (ラジオボタン)	☐ このような小さな円形で、クリックすると内部が黒くなったり白くなったりするものをオプションボタンと呼びます。これは1つだけしか選べない場合によく使われるので、ラジオボタンとも呼ばれています。

コンボボックス		このような左の▼をクリックすると、リストが表示されその中から選択して入力できるボックスを、コンボボックスと呼びます。
テキストボックス		このようなキーボードから文字を入力するボックス。

1. セットアップの開始

1-1 インストールファイル OUROFFICE_Setup.exe を実行

OUROFFICE_Setup.zip を解凍し、そのフォルダ内の【OUROFFICE_Setup.exe】を実行します。

その後、OUR OFFICE のインストールが開始されます。

※ CD-ROM インストール時はインストールウィザードが自動起動致します。

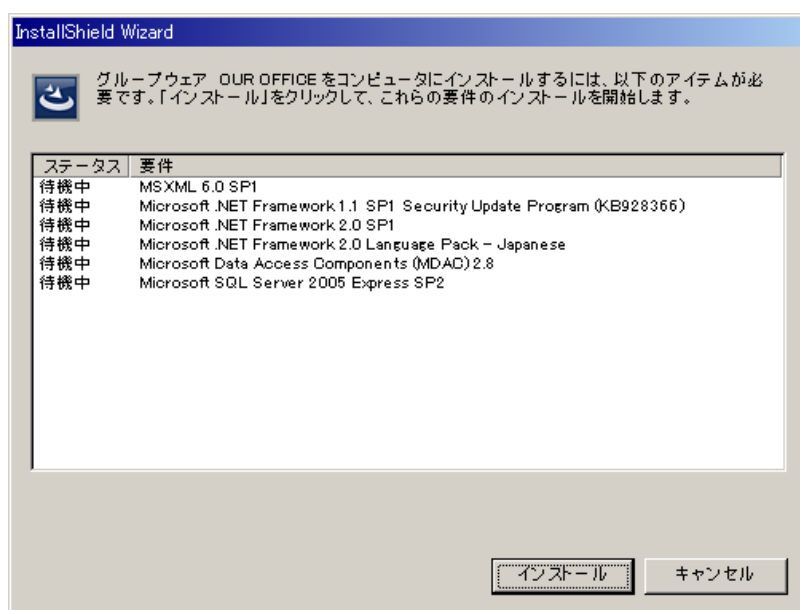


1-2 インストール開始

インストールが開始されるとまず初めに必要なモジュール群のチェックを行い、その端末に足りないものがあればインストールしていきます。

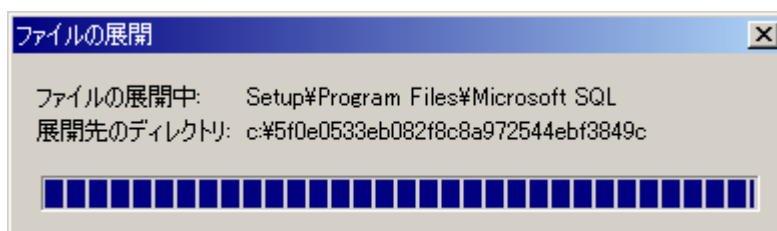
SQL Server 2005 のいずれかのエディションがインストールされていれば、以下インストールはスキップ致します。但し、SQLServer 認証で既存 SQL Server が動作していることが前提となりますのでご確認ください。

この段階で、Microsoft .NET Framework 1.1/2.0 がインストールされていないと、自動的に.NET Framework 1.1/2.0 のインストールが始まります。



1-3 SQL Server 2005 Express Edition の展開処理

SQL Server 2005 の展開処理が実行されます。

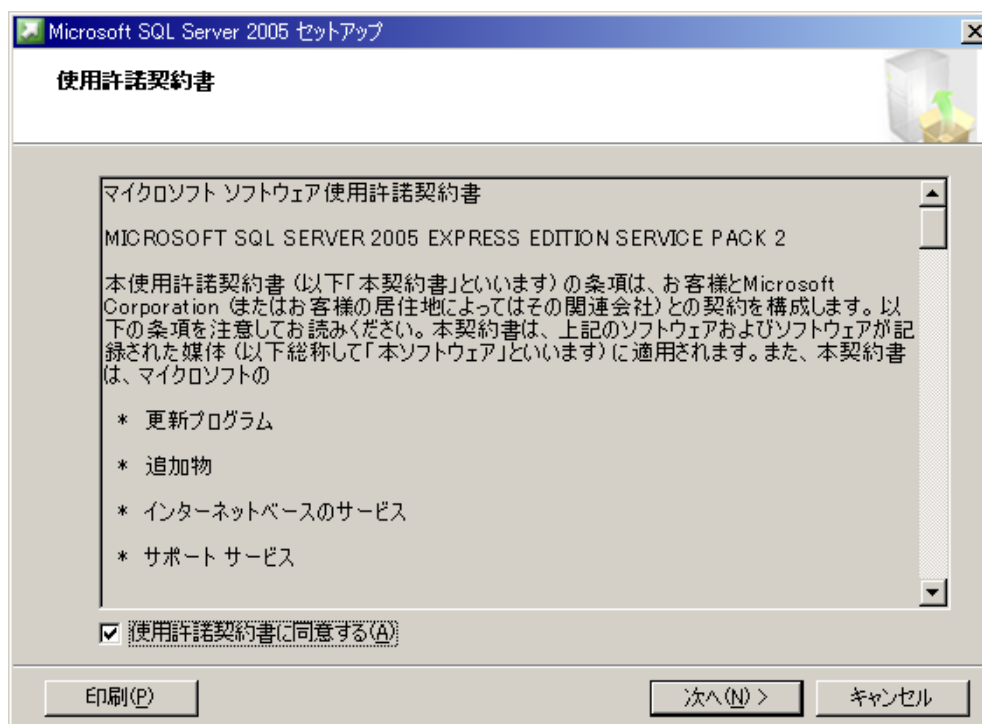


※既に SQL Server 2005 がインストールされている場合は SQL Server 2005 のインストール処理は省略されます。

2. SQL Server 2005 Express Edition のインストール

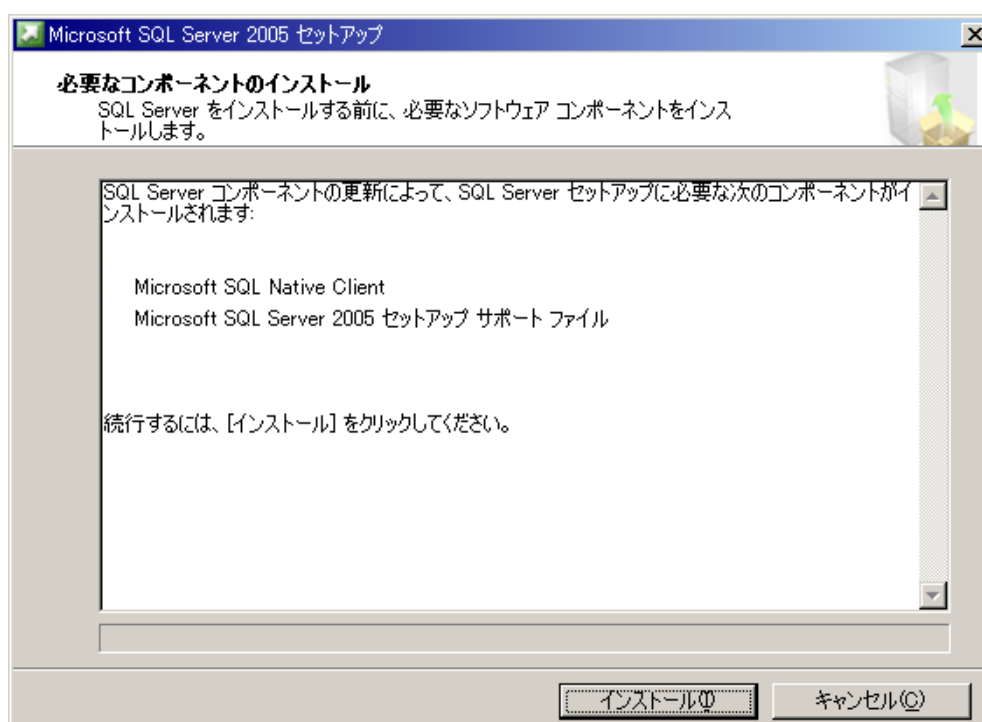
2-1 使用許諾確認

使用許諾契約書に同意のうえ、チェックボックスをオンにして頂き、「次へ(N)」ボタンを押してお進みください。※ SP1 SP2 共通インストール説明となります。



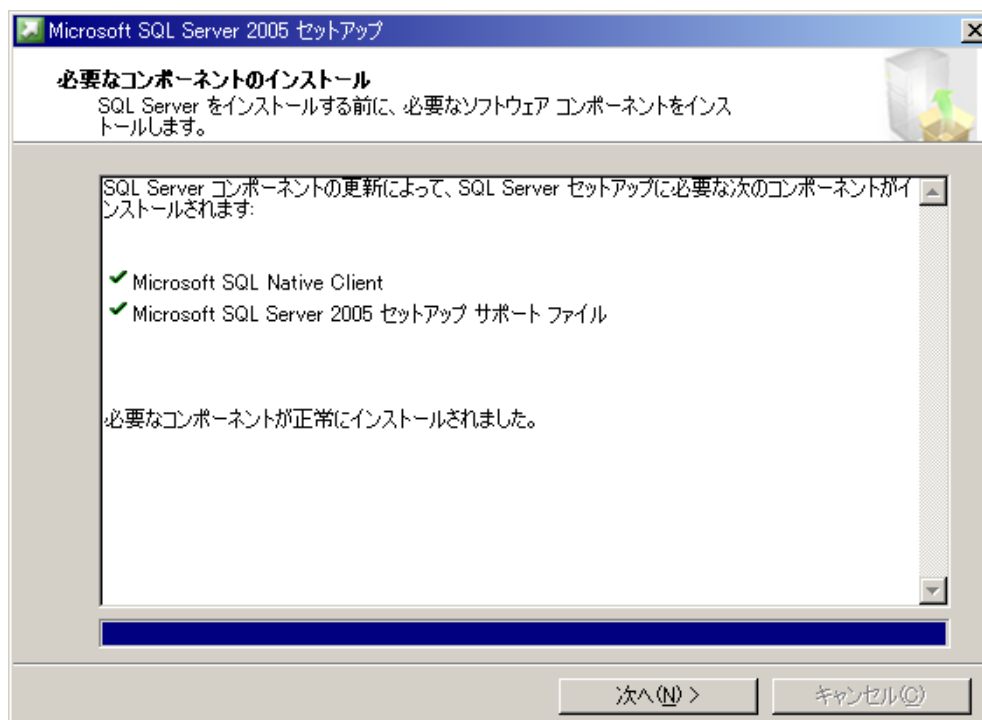
2-2 基本コンポーネントのインストール①

「インストール(I)」ボタンをクリックします。



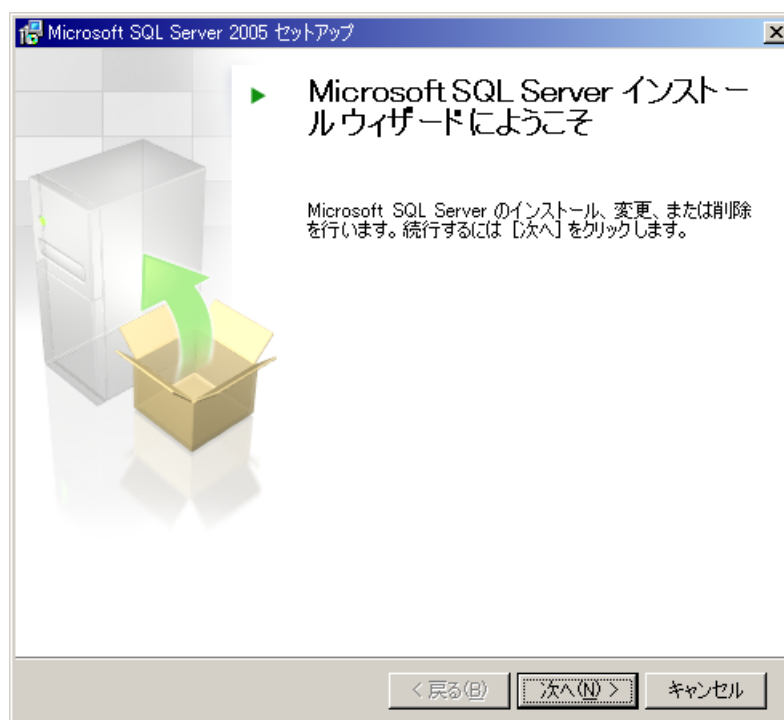
2-3 基本コンポーネントのインストール②

「次へ(N)」ボタンをクリックします。



2-4 本体インストール

「次へ(N)」ボタンをクリックします。



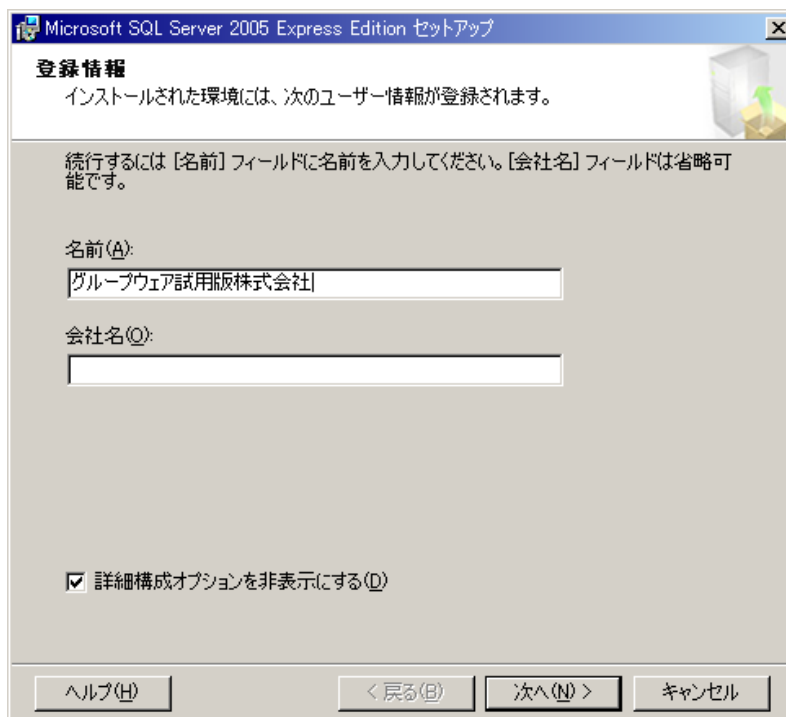
2-5 システム構成チェック

すべての状態が【成功】となっているのを確認し、「次へ(N)」ボタンをクリックします。



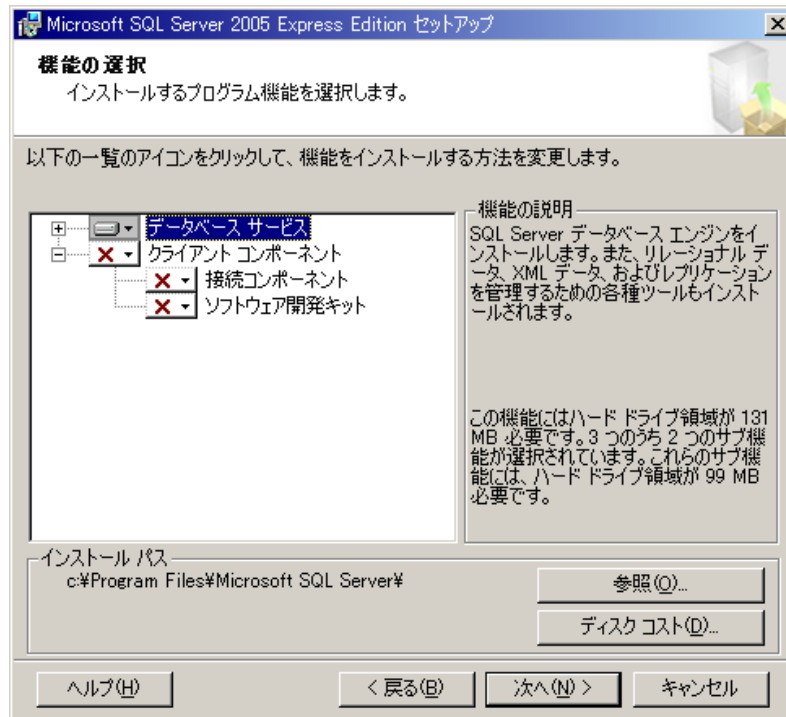
2-6 登録情報入力

[名前]項目を入力していただき、「次へ(N)」ボタンをクリックします。[会社名]は省略可能です。



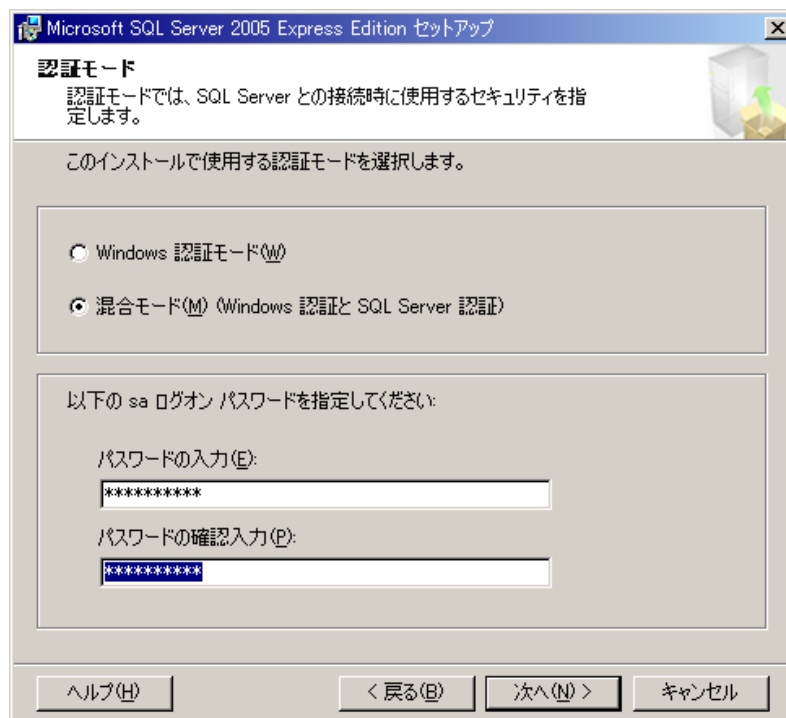
2-7 機能選択

標準設定のまま、「次へ(N)」ボタンをクリックします。



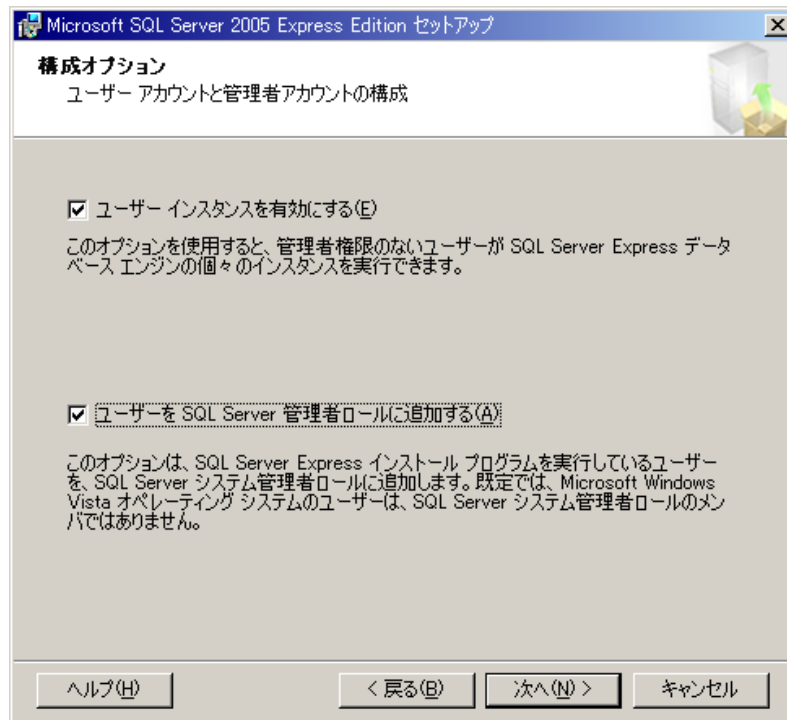
ここでは、必ず「混合モード (Windows 認証と SQL Server 認証)」を指定してください。

また、データベースへログインする為のパスワードも指定して、「次へ(N)」ボタンをクリックします。



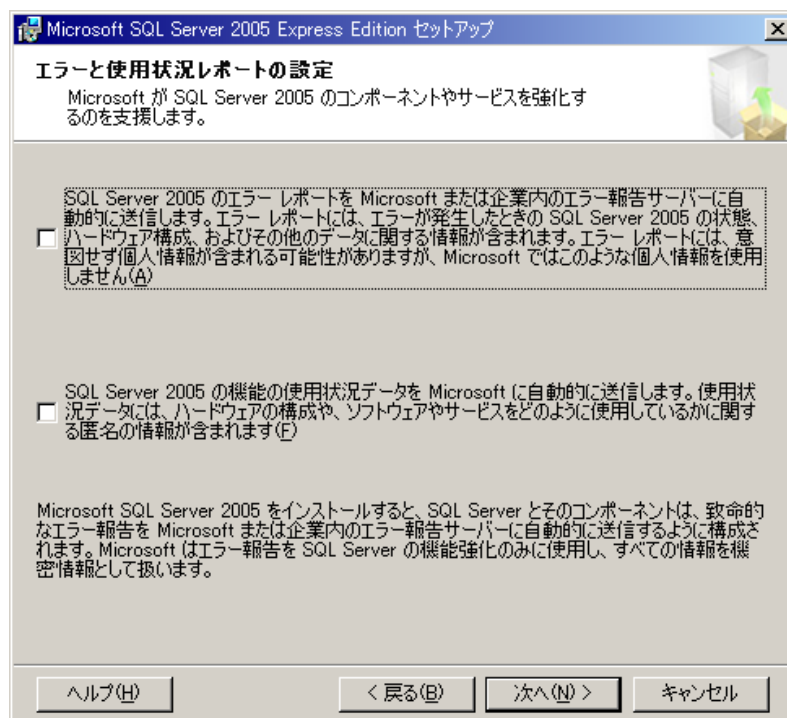
2-9 アカウントの構成

[ユーザーインスタンスを有効にする]及び、[ユーザーを SQL Server 管理者ロールに追加する]のチェックボックスにチェックをして頂き、「次へ(N)」ボタンをクリックします。



2-10 エラーと使用状況設定画面

各項目に同意する場合は、チェックボックスにチェックを入れて頂き、「次へ(N)」ボタンをクリックします。



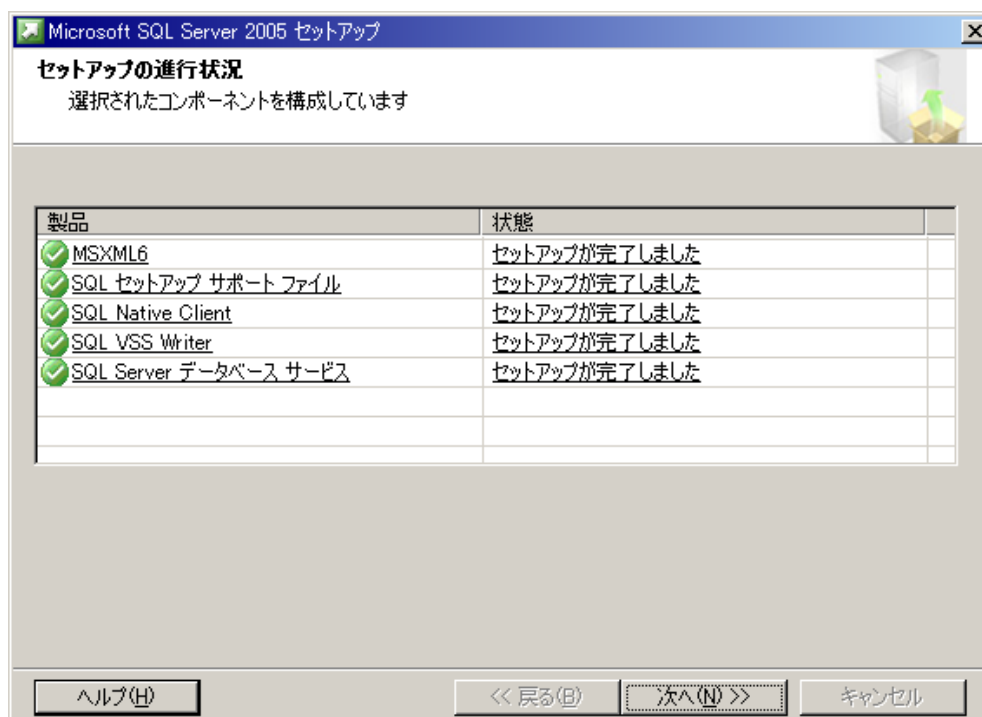
2-11 インストール準備完了画面

インストールするコンポーネントを確認して、「インストール(I)」ボタンをクリックします。



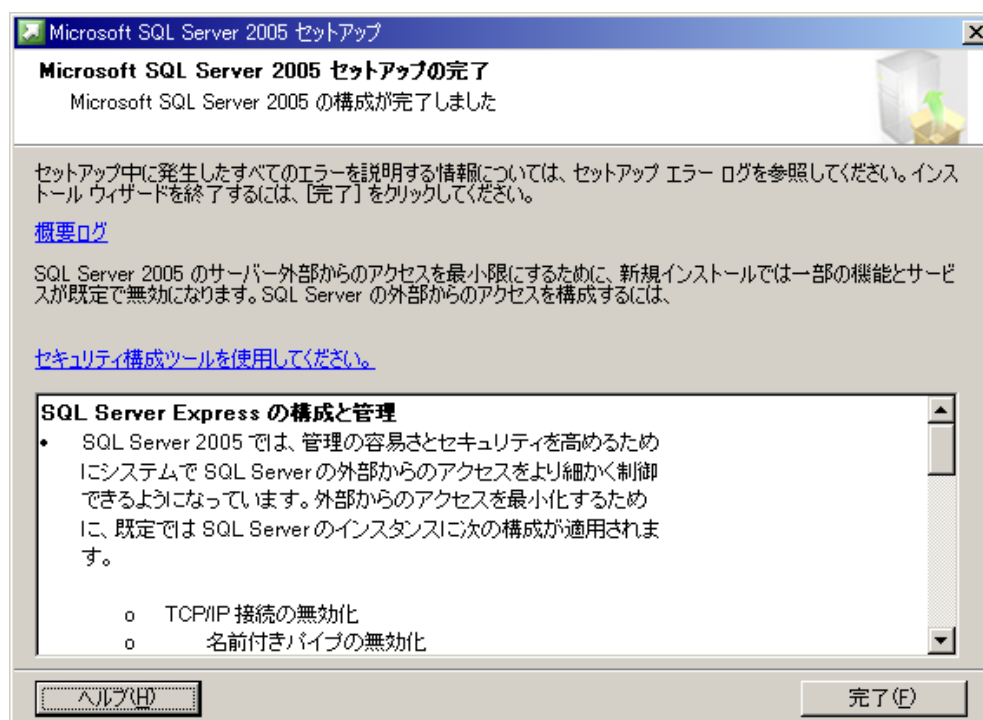
2-12 展開処理

いくつかの項目がインストールされていきます。すべての状態が【セットアップが完了しました】となるのを確認後、「次へ(N)」ボタンをクリックします。



2-13 インストール完了

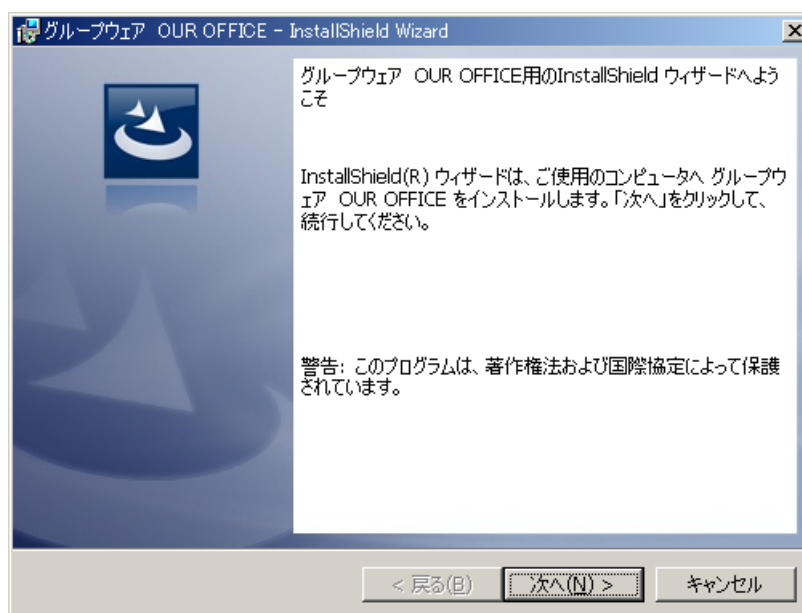
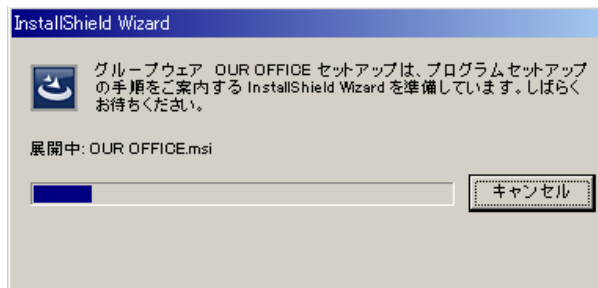
セットアップ内容を確認して頂き、[完了(F)]をクリックしてください。



3. グループウェアシステム【OUR OFFICE】のインストール

3-1 グループウェア OUR OFFICE 基本モジュール インストール

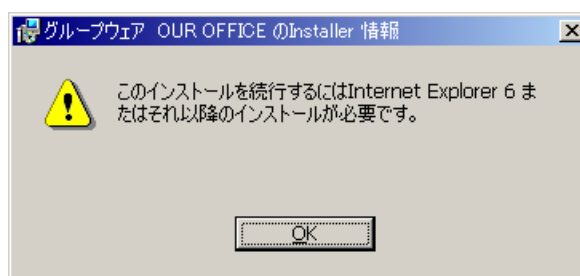
これより OUR OFFICE のインストールを開始します。「次へ(N)」ボタンをクリックします。



注意！：OUR OFFICE インストール画面へ遷移前に、インストール条件に適合しない場合、以下メッセージが表示されます。

【前提条件】

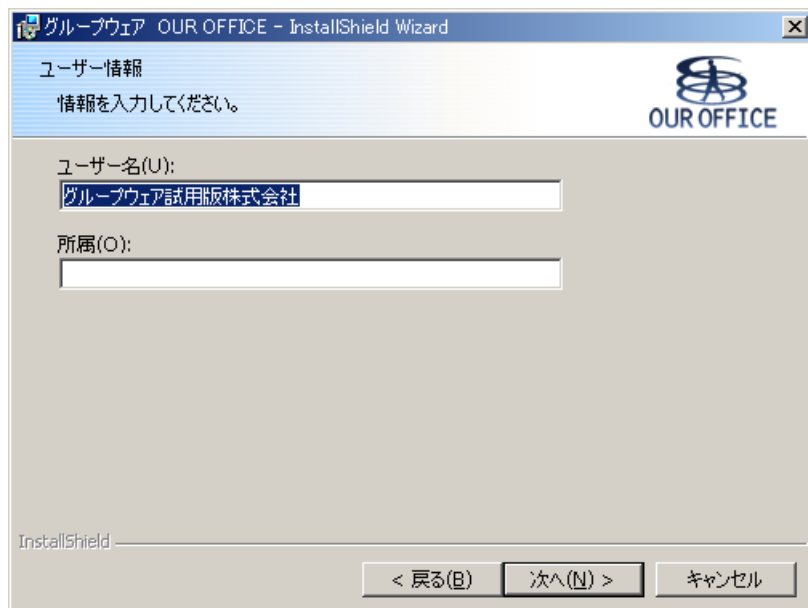
- ① Internet Information Service がインストールされている事
- ② Internet Explorer 6.0 以上がインストールされている事



3-2 ユーザー情報の登録

ユーザー情報を入力してください。

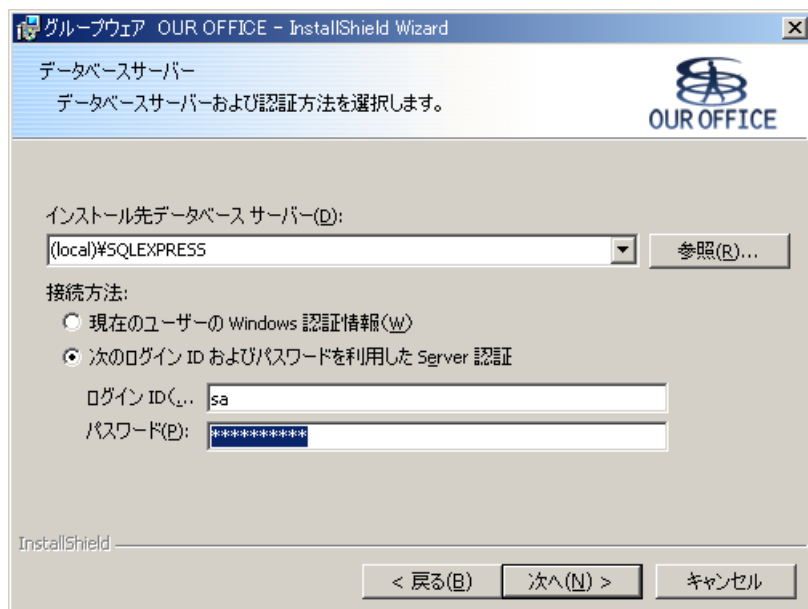
入力完了後、「次へ(N)」をクリックします。



3-3 データベース認証方法の設定

インストール先サーバーと SQLServer 認証情報を入力してください。

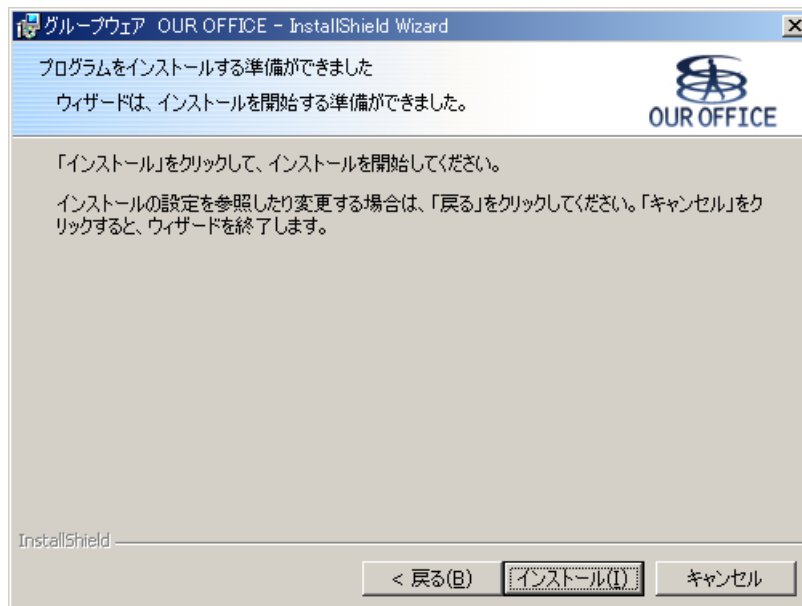
『2-8 SQL Server 2005 Express Edition の認証方法設定』で設定したパスワードを入力してください。入力完了後、「次へ(N)」をクリックします。



注意： ご利用環境が Windows 認証ベースの環境でない場合、必ず SQLServer 認証としてください。

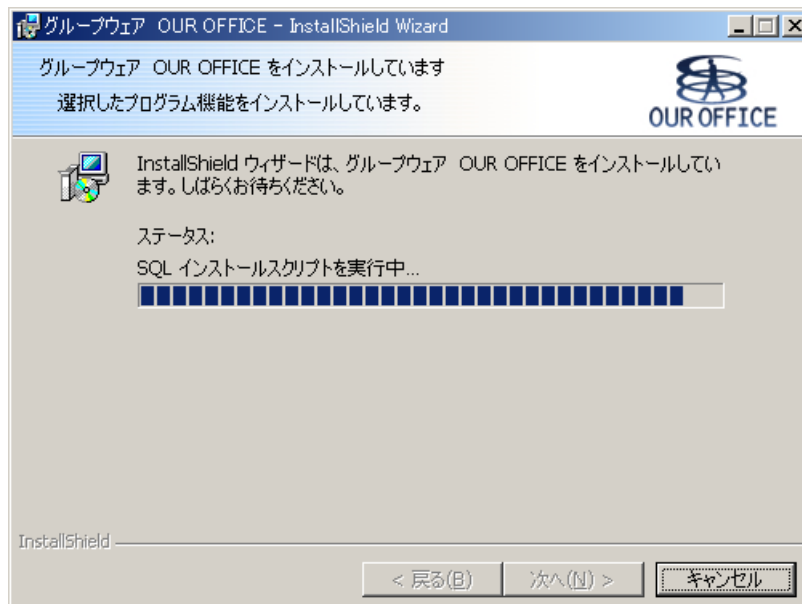
3-4 グループウェア インストール準備の完了画面

「インストール(I)」ボタンをクリックします。



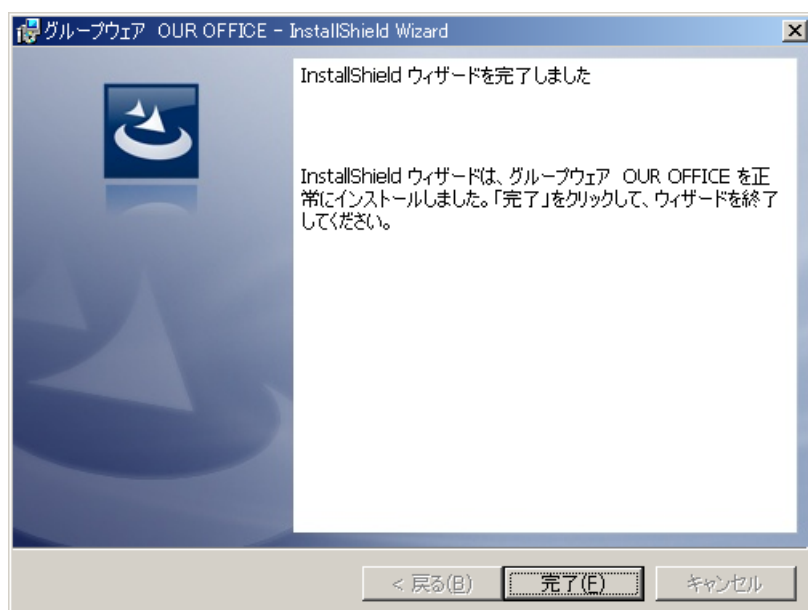
3-5 グループウェアのインストール中画面

OUR OFFICE をインストール中です。しばらくお待ちください。



3-6 グループウェア インストールの完了

OUR OFFICE をインストールが完了しました。これよりグループウェアシステム OUR OFFICE をご利用いただけます。[完了(F)]をクリックしてください。



4. OUR OFFICE を利用する

4-1 インストールした OUR OFFICE を利用する

インストール完了後はこちらの URL からアクセスが可能です。

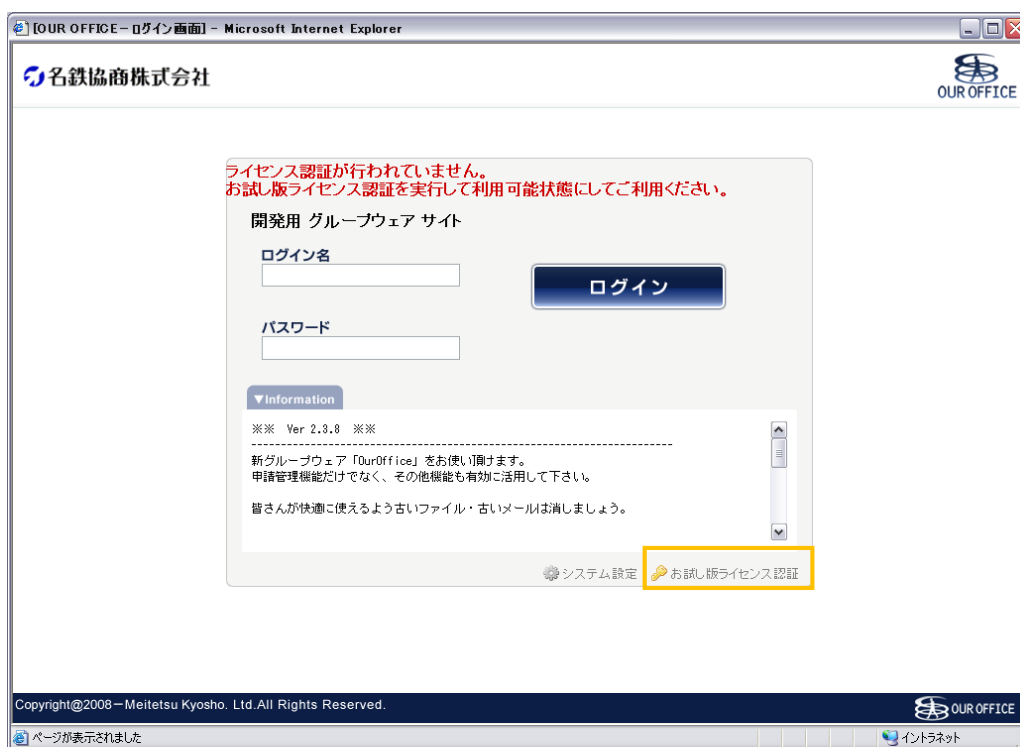
[http://\(インストールサーバ名\)/gw/](http://(インストールサーバ名)/gw/)

4-2 ライセンスを認証する

4-2-1 ライセンス認証方法 ① （30 日お試し版認証）

『4-1』の URL を入力後、下図のようなログイン画面が表示されます。このままでは使用することができないので、ライセンス認証を行います。右下の  お試し版ライセンス認証 ボタンをクリックしますと、ライセンス登録が完了しグループウェアを 30 日間お試し頂く事が可能です。

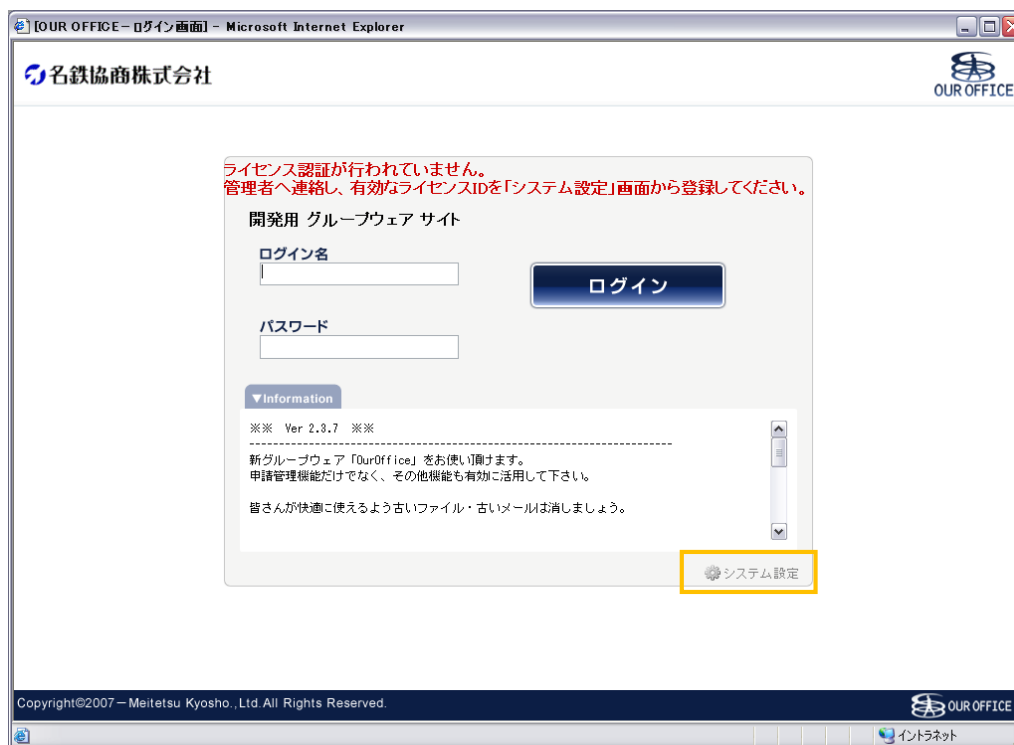
※ 但し 30 日間 10 アカウントまでの登録制限が掛かっております。



ログイン画面（ライセンス認証前）

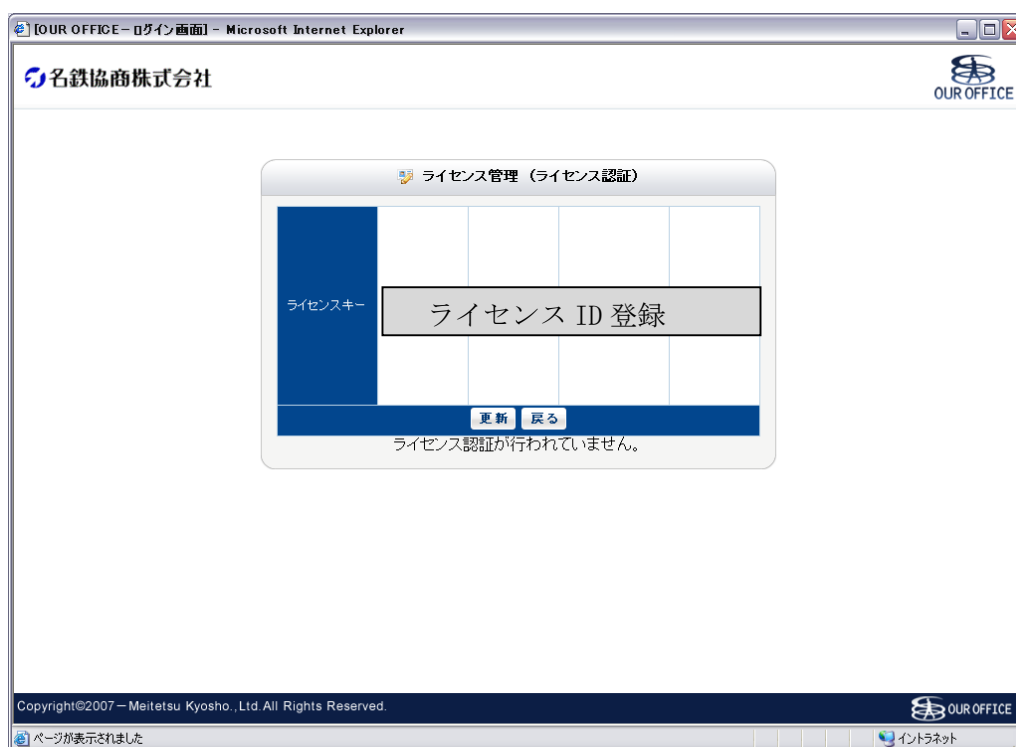
4-2-2 ライセンス認証方法 ②（ライセンスキー入力版認証）

『4-1』のURLを入力後、下図のようなログイン画面が表示されます。このままでは使用することができないので、ライセンス認証を行います。右下の  システム設定 ボタンをクリックし、ライセンス認証画面へ移動します。



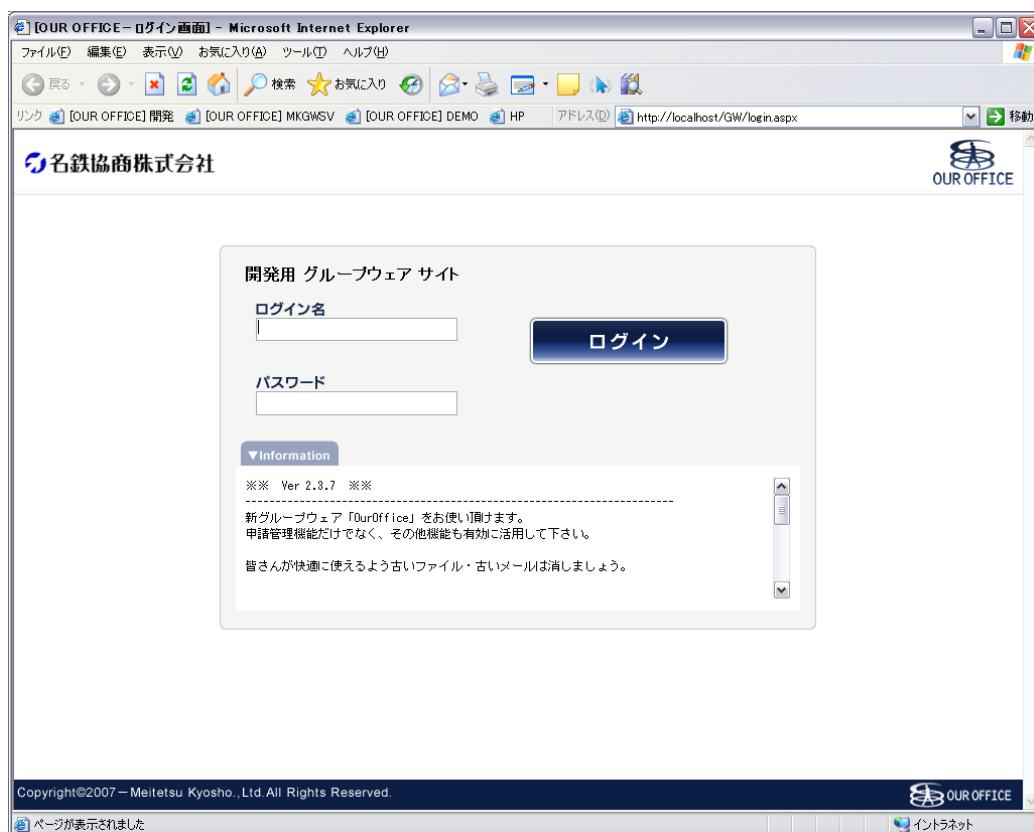
ログイン画面（ライセンス認証前）

ライセンス画面では発行された一意なライセンスキーを入力します。
ライセンスキー入力後、「更新」ボタンをクリックしてください。



ライセンス認証画面

ライセンスキーが正しいものであれば認証が成功し、認証後のログイン画面が表示されますので、そのままご利用ください。利用方法等は別紙【システムマニュアル】をご参照ください。



ログイン画面（ライセンス認証後）

5. Windows Vista・Windows2008 Server を利用する場合の必須設定

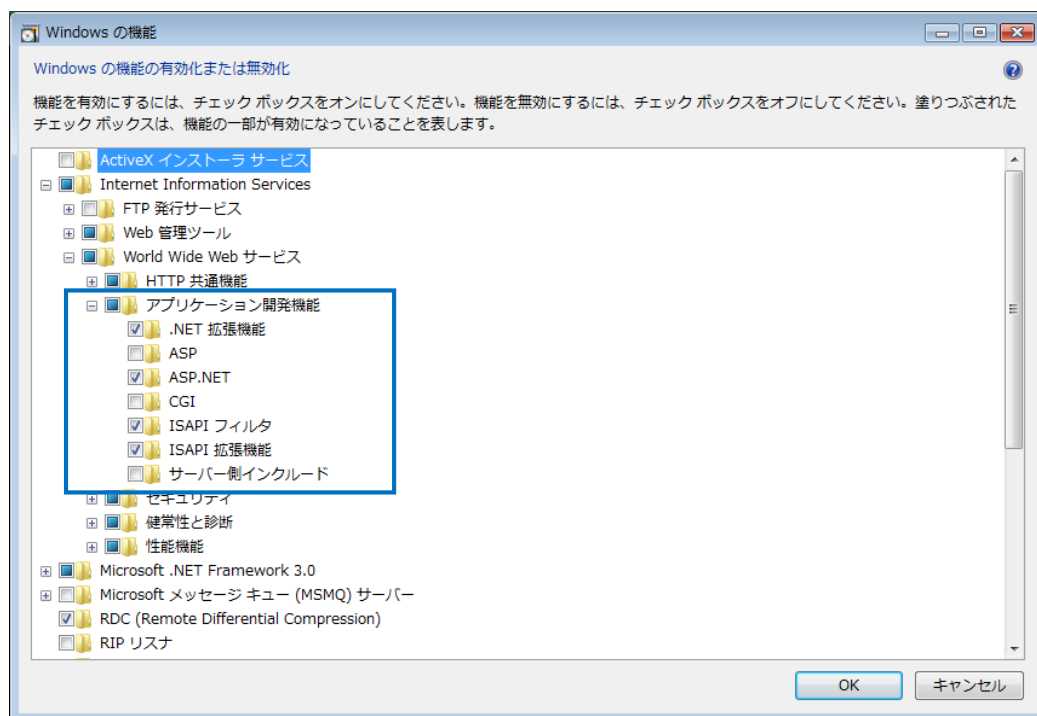
5-1 環境設定

インストール完了後、Windows Vista および Windows2008Server ではいくつかの項目について設定が必要となります。

以下内容をご確認頂き、設定願います。

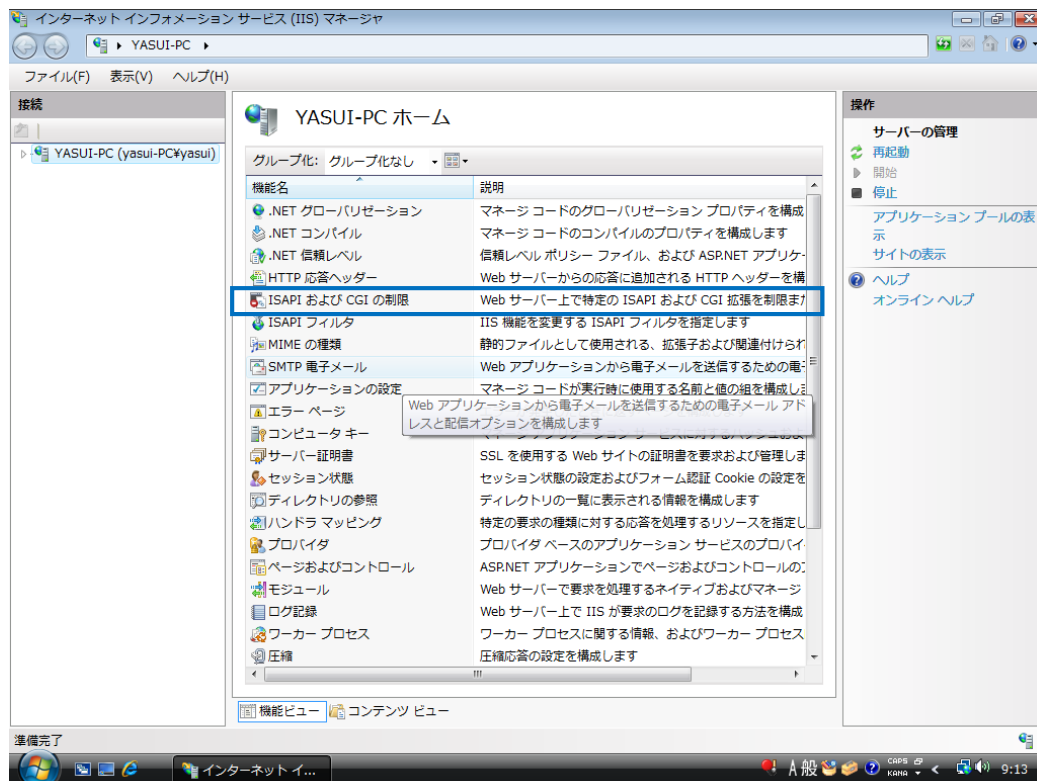
【Windows Vista の場合】

「コントロールパネル」－「プログラムと機能」－「Windows の機能の有効化または無効化」を選択します。

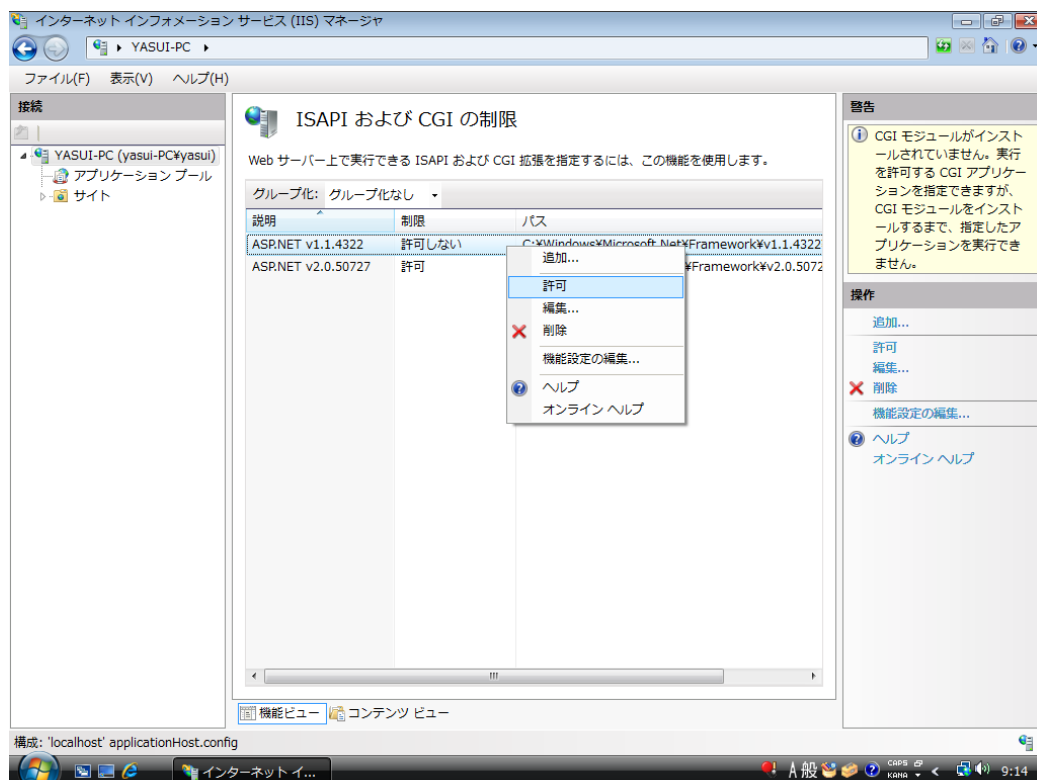


「アプリケーション開発機能」内の設定が上記項目と同様にチェックをつけて、OKを押してください。(インストールが開始されます)

次に、「コントロールパネル」－「管理ツール」－「インターネットインフォメーションサービス (IIS) マネージャ」を開き、「ISAPI および CGI の設定」をダブルクリックで開きます。

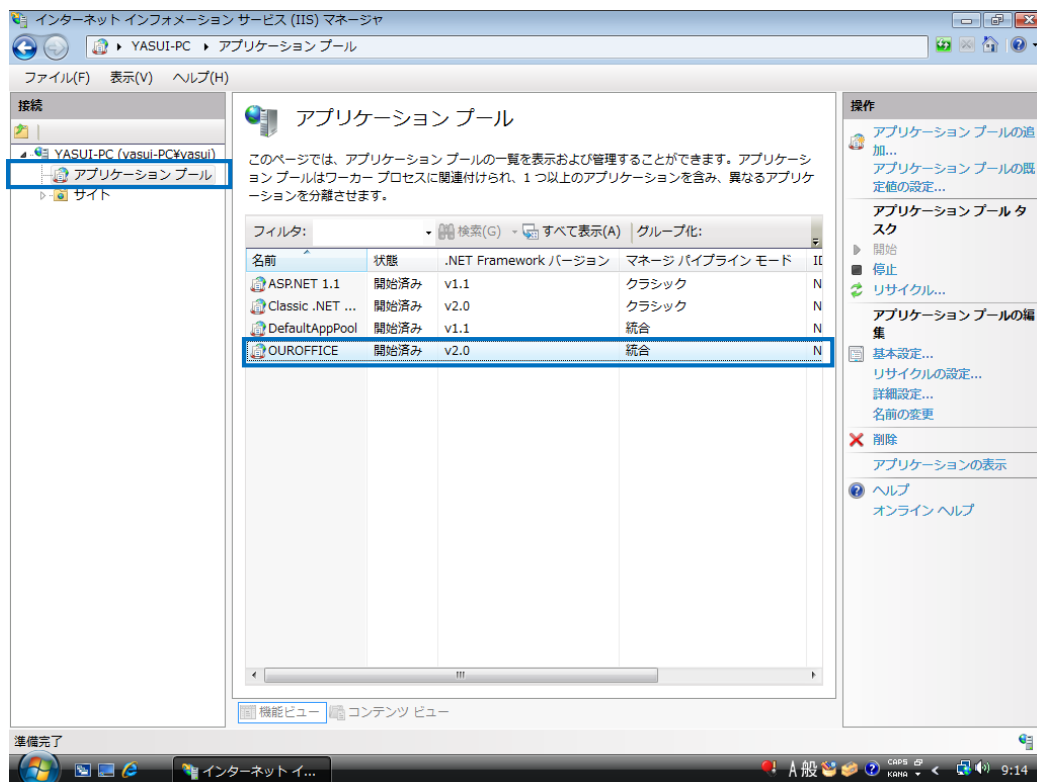


一覧上の、「ASP.NET v1.1.4322」を右クリックし制限を「許可」に変更します。

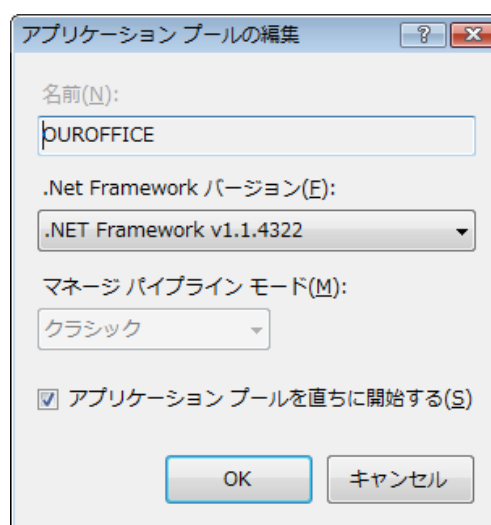


次に、「インターネットインフォメーションサービス (IIS) マネージャ」内の「アプリケーションプール」をクリックします。

一覧上に、OUROFFICE が存在しますので、ダブルクリックします。



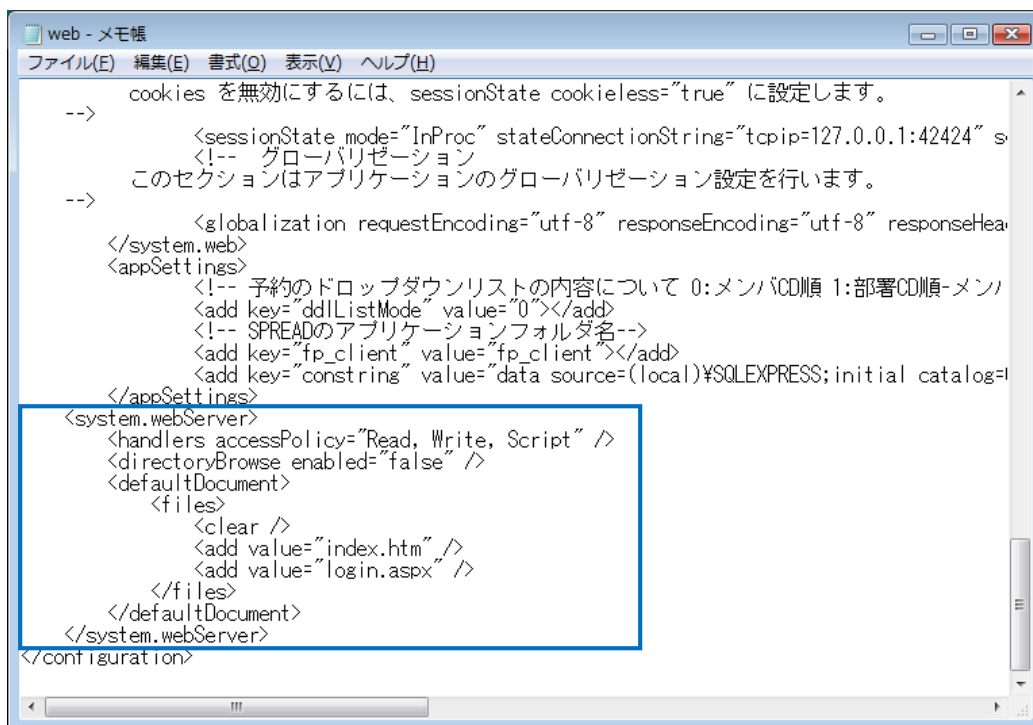
「マネージパイプラインモード」をクラシックに変更し、「.NET Framework バージョン」を .NET Framework v1.1.4322 に変更し、OKを押してください。



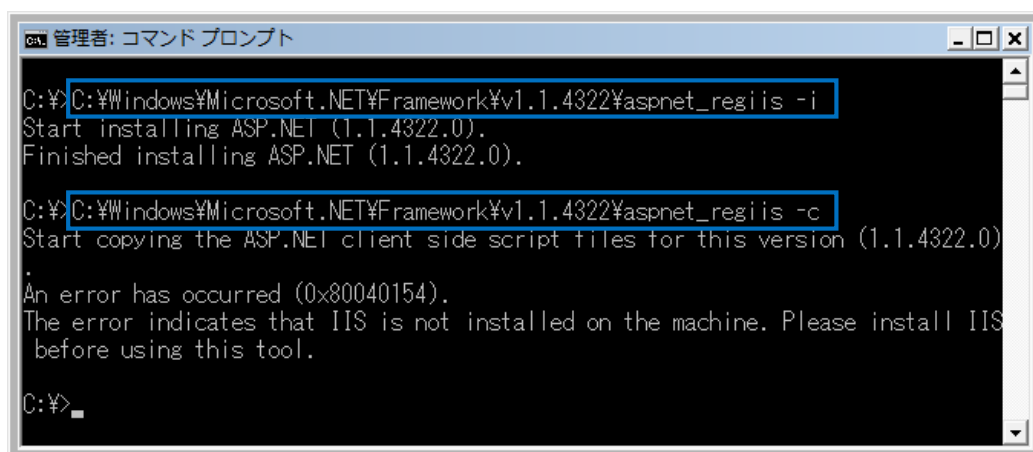
次に、構成ファイル内の編集を行います。IIS7.0 へのインストールでは、インストーラが自動的に不必要な要素を追加しますので、次のように要素を削除願います。

ファイルの場所 : C:\inetpub\wwwroot\OUROFFICE\web.config

修正位置 : ファイル内最下部



上記箇所を全て削除し、保存します。



最後に、ASP.NET IIS 登録ツール (Aspnet_regiis.exe) を利用し、ASP.NET ISAPI バージョンをポイントするように ASP.NET アプリケーションのスクリプト マップを更新します。

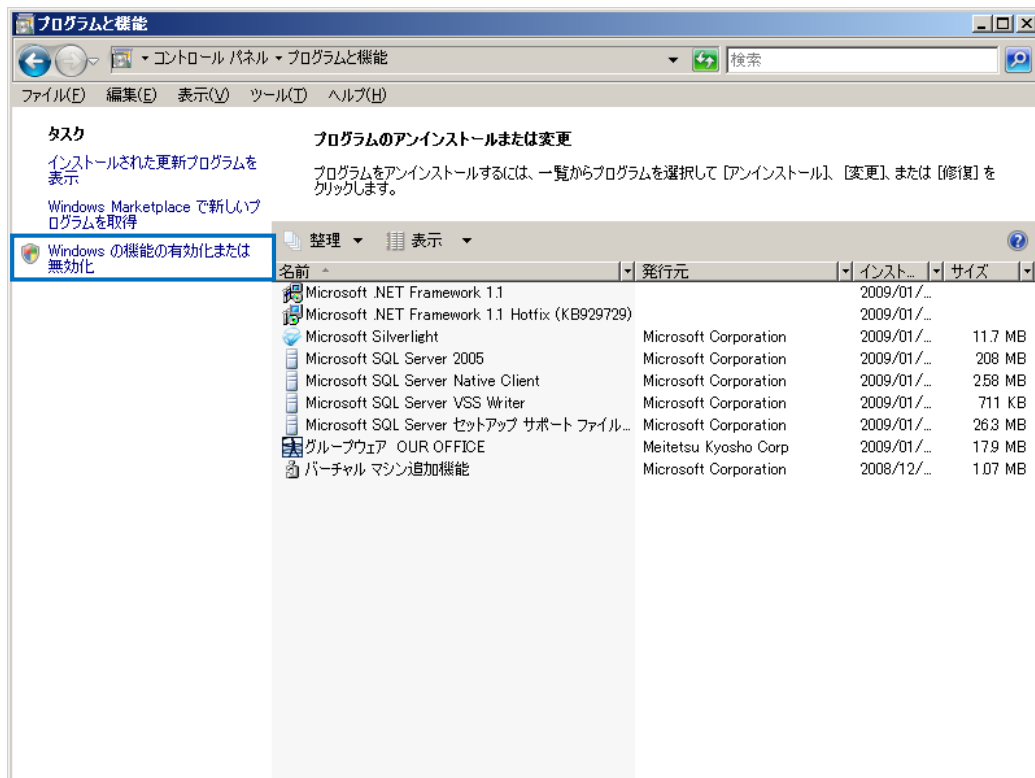
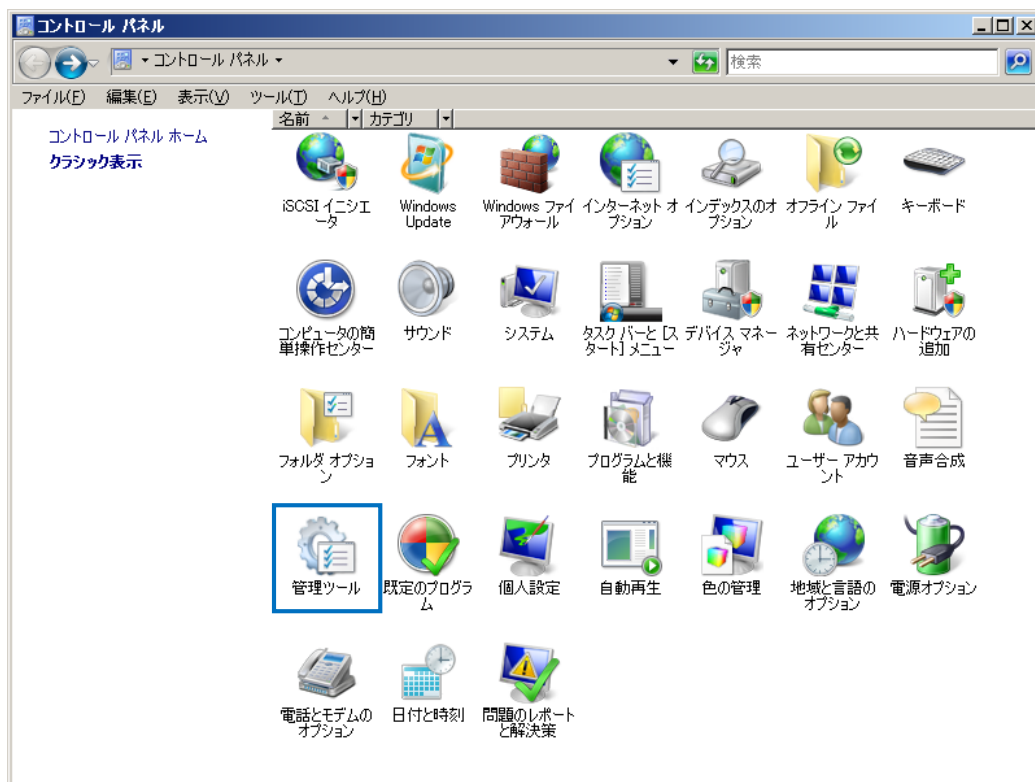
C:\WINDOWS\Microsoft.NET\Framework\v1.1.4322\aspnet_regiis.exe -i ①

C:\WINDOWS\Microsoft.NET\Framework\v1.1.4322\aspnet_regiis.exe -c ②

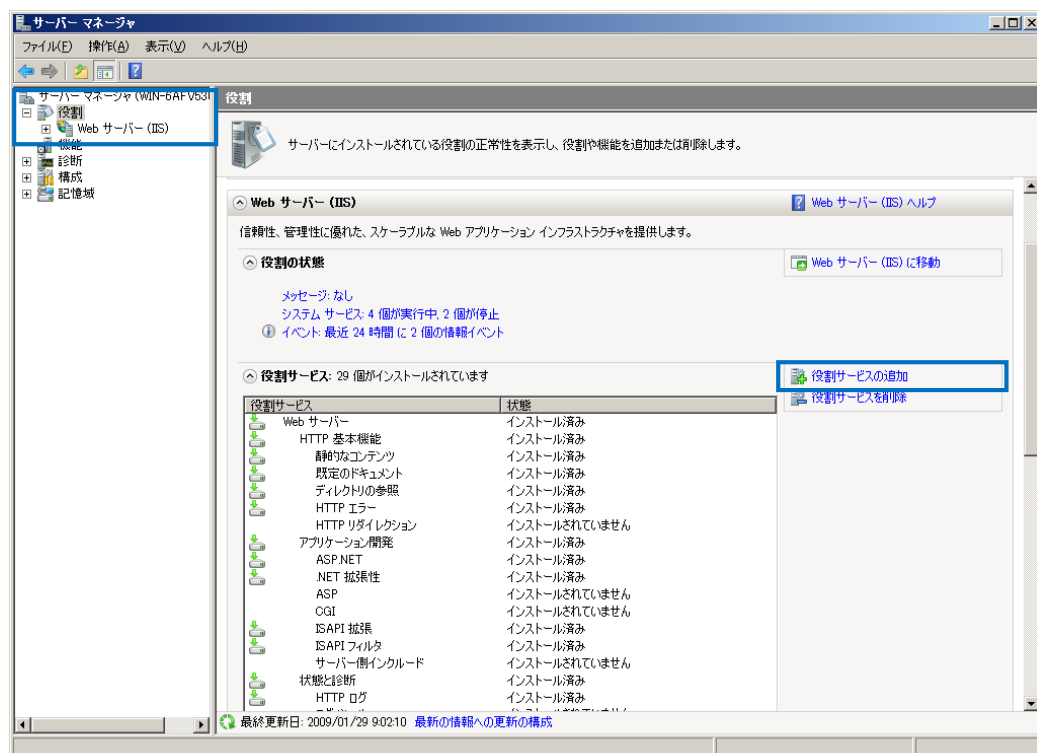
上記 2 種類のコマンドを、コマンドプロンプトを使い実行します。

【Windows 2008 Server の場合】

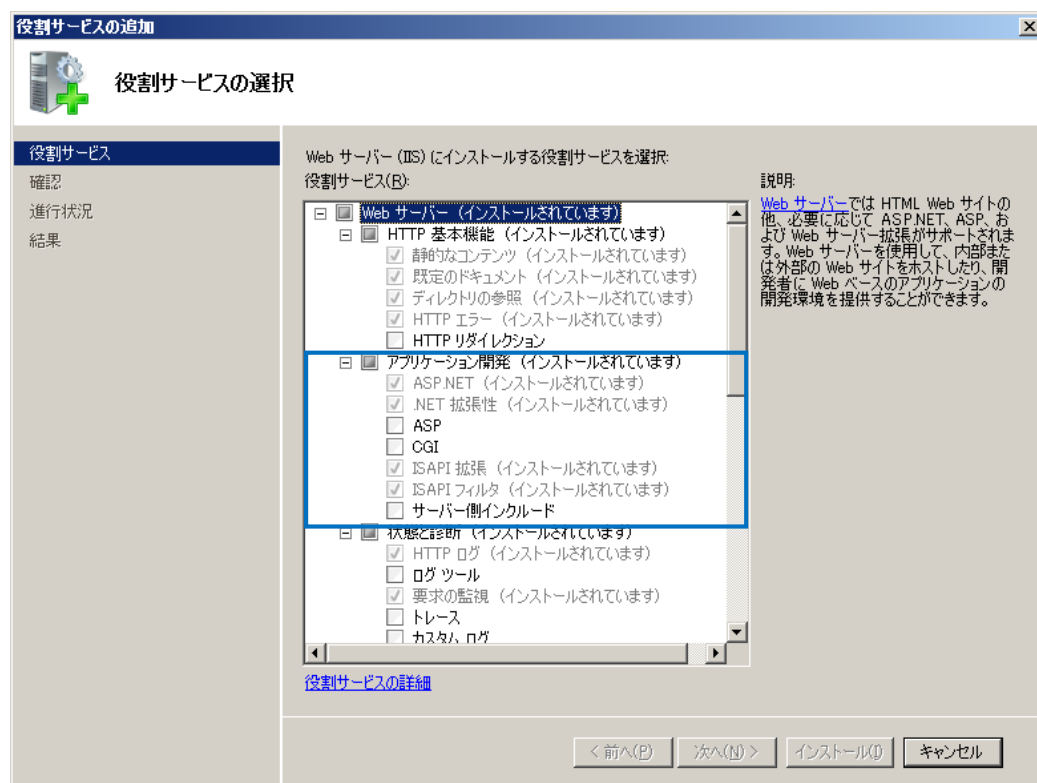
「コントロールパネル」 - 「プログラムと機能」 - 「Windows の機能の有効化または無効化」 を選択します。



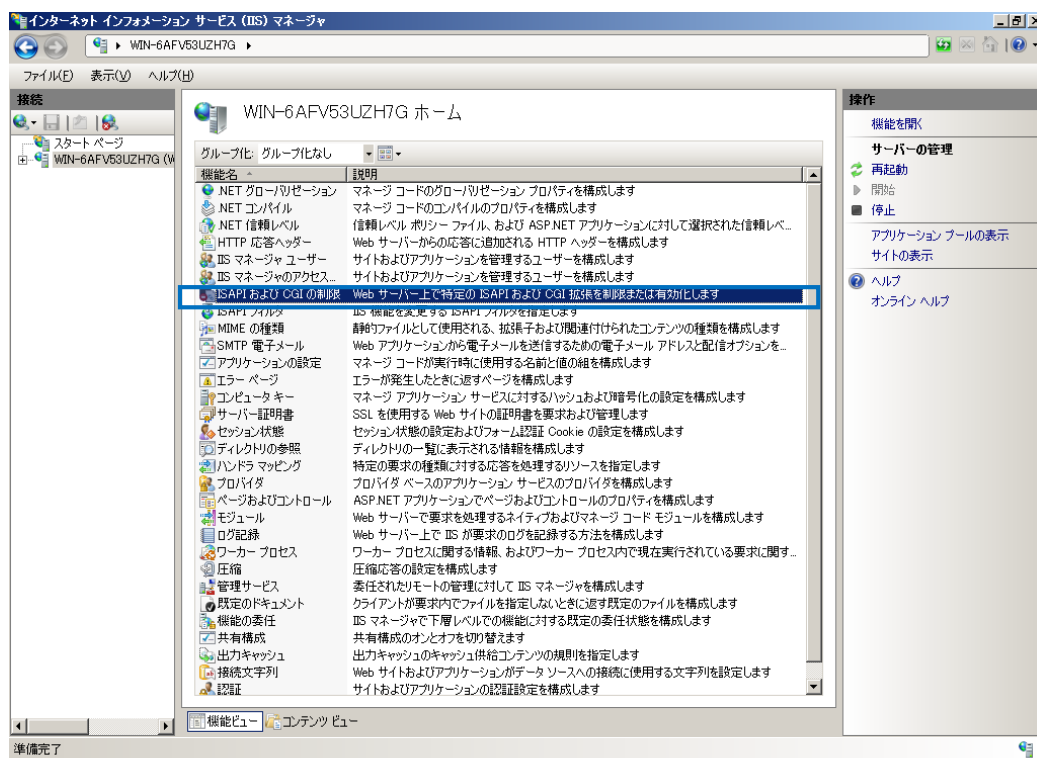
サーバマネージャが起動しますので、左サイドバーより「役割」-「WEB サーバー (IIS)」を選択し、右側「役割サービスの追加」を選択します。



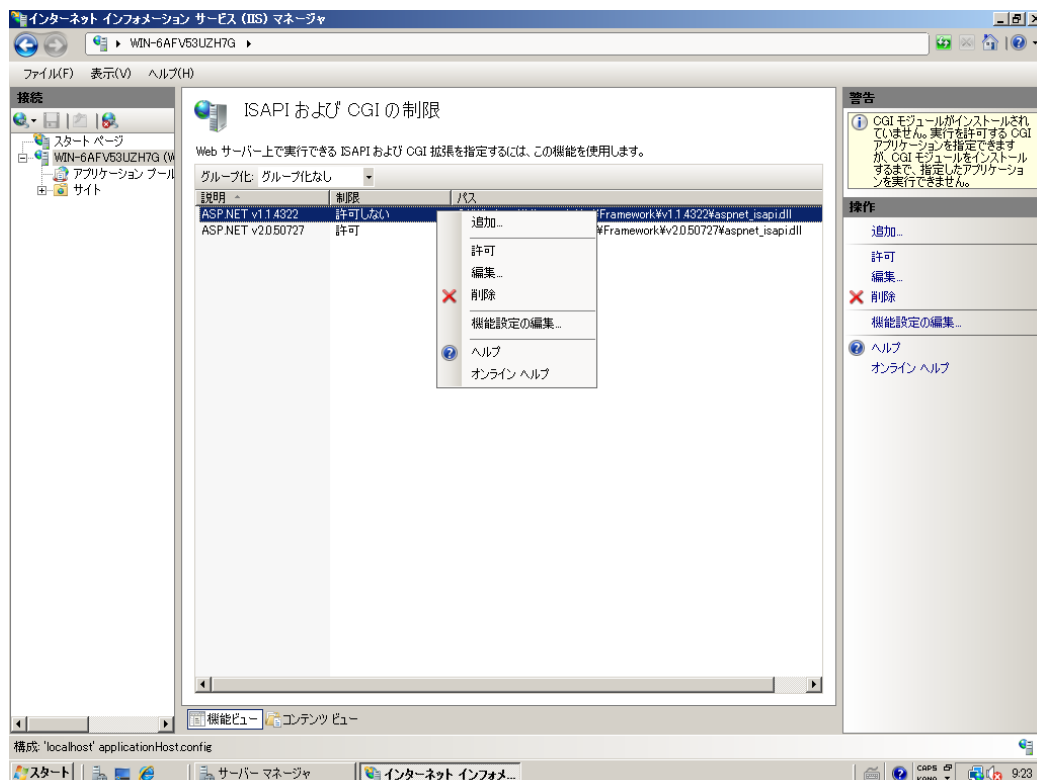
「アプリケーション開発機能」内の設定が上記項目と同様にチェックをつけて、OKを押してください。(インストールが開始されます)



次に、「コントロールパネル」－「管理ツール」－「インターネットインフォメーションサービス (IIS) マネージャ」を開き、「ISAPI および CGI の設定」をダブルクリックで開きます。

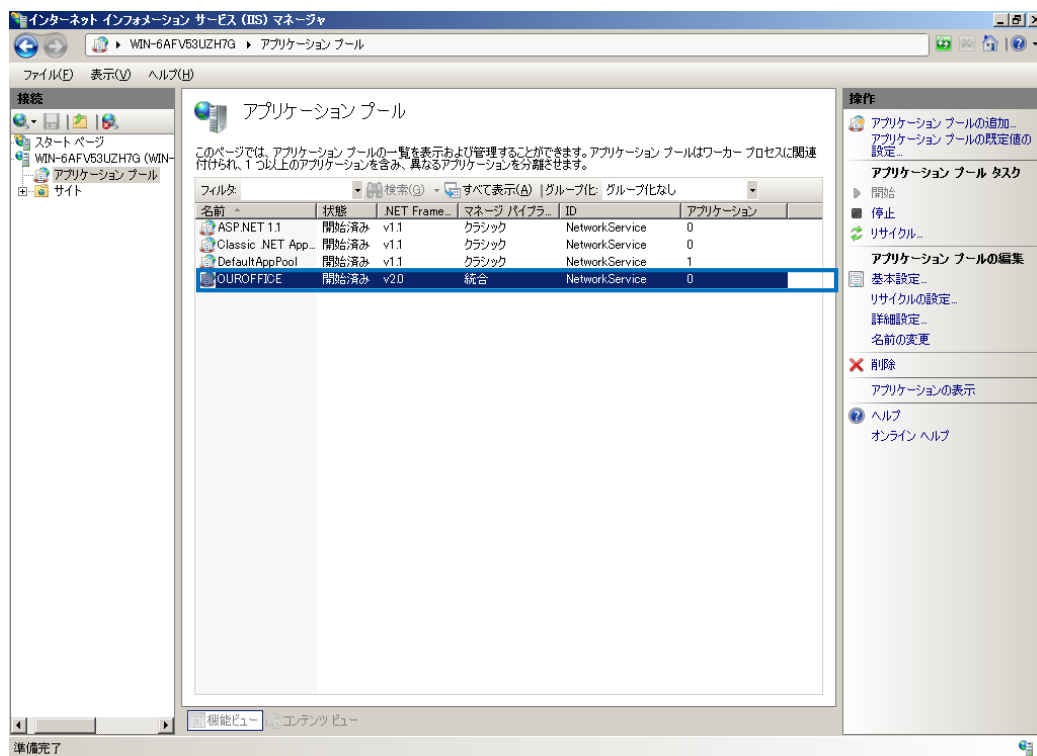


一覧上の、「ASP.NET v1.1.4322」を右クリックし制限を「許可」に変更します。

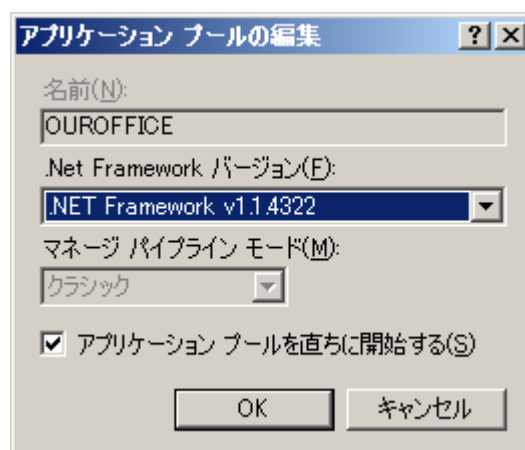


次に、「インターネットインフォメーションサービス (IIS) マネージャ」内の「アプリケーションプール」をクリックします。

一覧上に、OUROFFICE が存在しますので、ダブルクリックします。



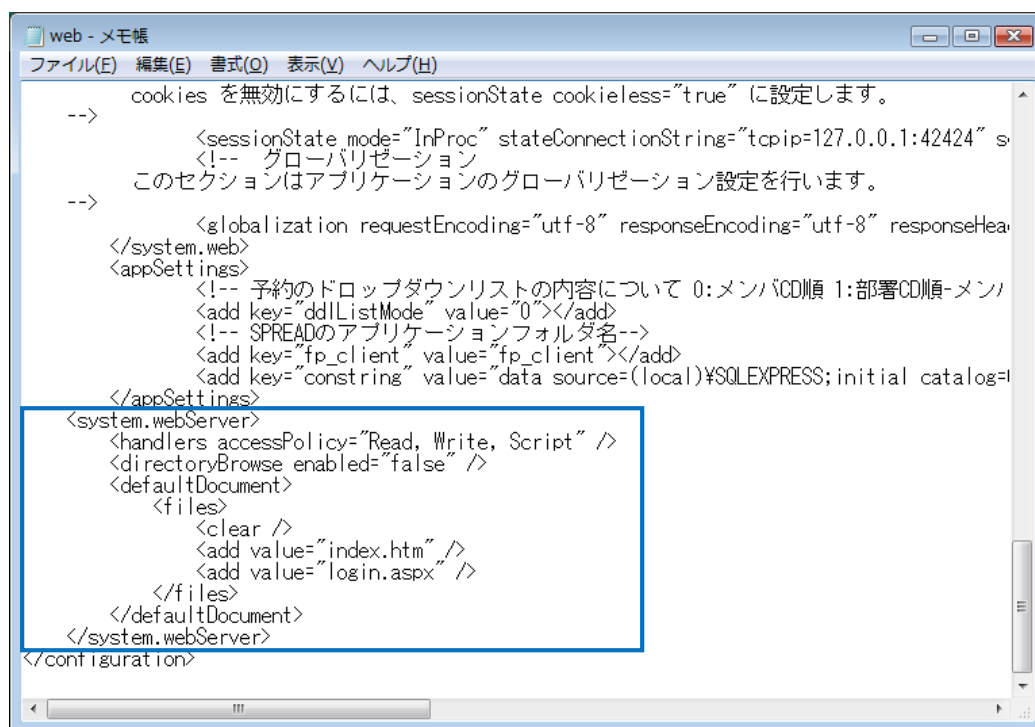
「マネージパイプラインモード」をクラシックに変更し、「.NET Framework バージョン」を .NET Framework v1.1.4322 に変更し、OKを押してください。



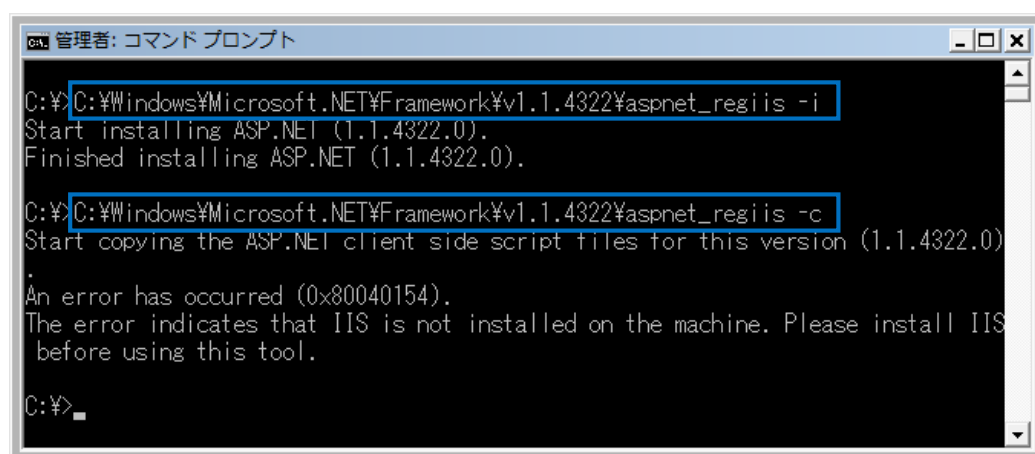
次に、構成ファイル内の編集を行います。IIS7.0 へのインストールでは、インストーラが自動的に不必要な要素を追加しますので、次のように要素を削除願います。

ファイルの場所 : C:\inetpub\wwwroot\OUROFFICE\web.config

修正位置 : ファイル内最下部



上記箇所を全て削除し、保存します。



最後に、ASP.NET IIS 登録ツール (Aspnet_regiis.exe) を利用し、ASP.NET ISAPI バージョンをポイントするように ASP.NET アプリケーションのスクリプト マップを更新します。

C:\WINDOWS\Microsoft.NET\Framework\v1.1.4322\aspnet_regiis.exe -i ①

C:\WINDOWS\Microsoft.NET\Framework\v1.1.4322\aspnet_regiis.exe -c ②

上記 2 種類のコマンドを、コマンドプロンプトを使い実行します。